

経営比較分析表（令和4年度決算）

和歌山県 岩出市

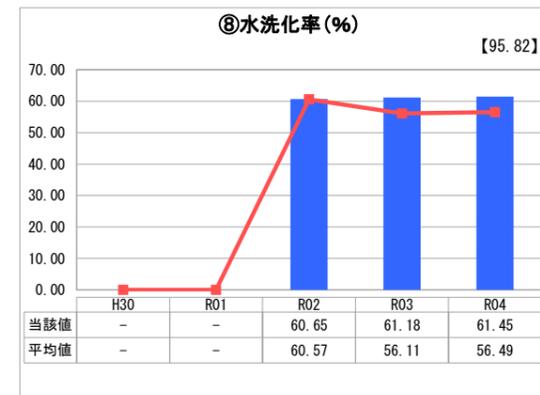
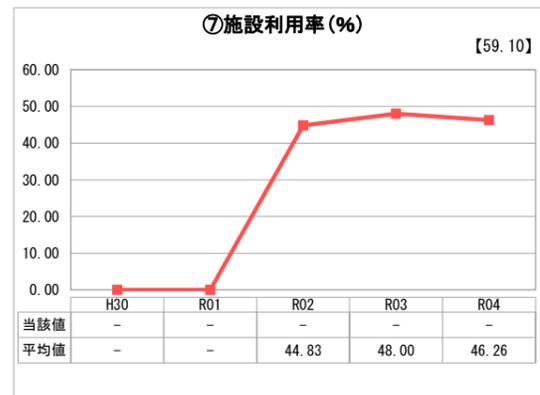
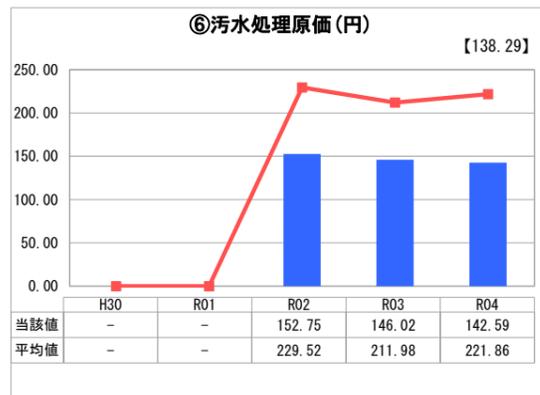
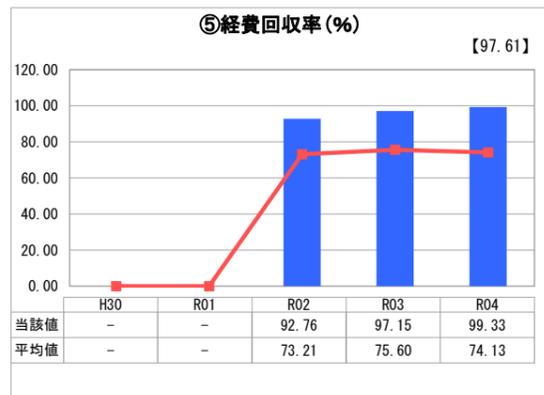
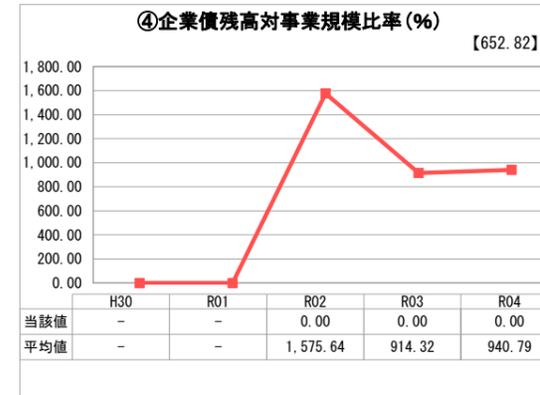
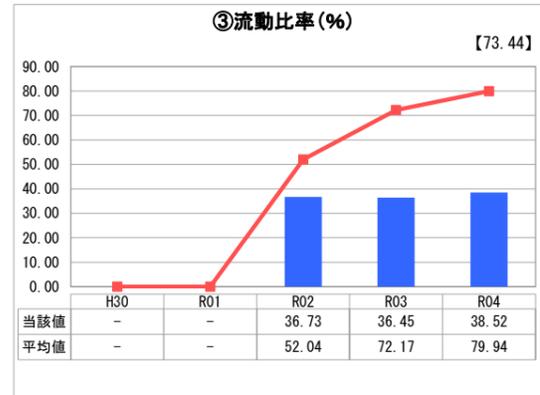
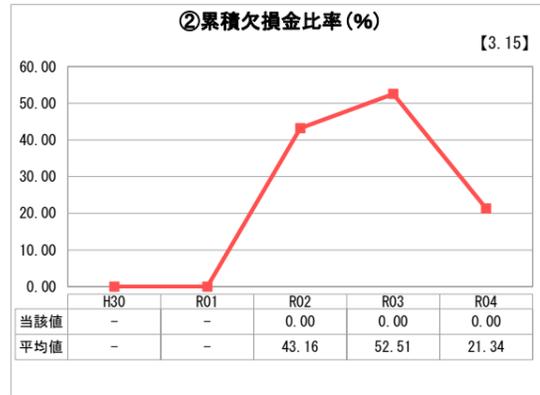
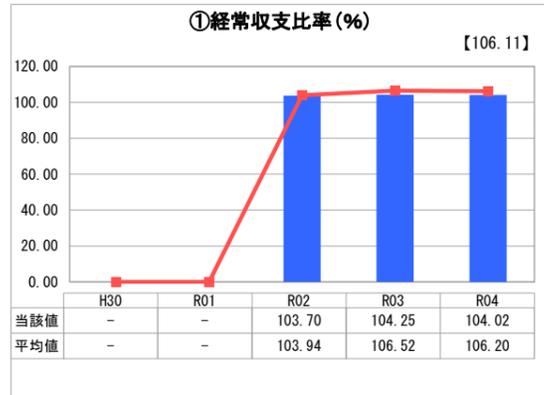
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.18	55.28	97.32	2,880

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
54,215	38.51	1,407.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
29,913	7.47	4,004.42

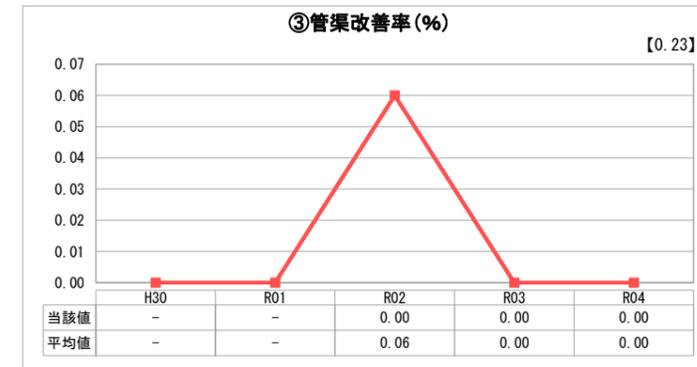
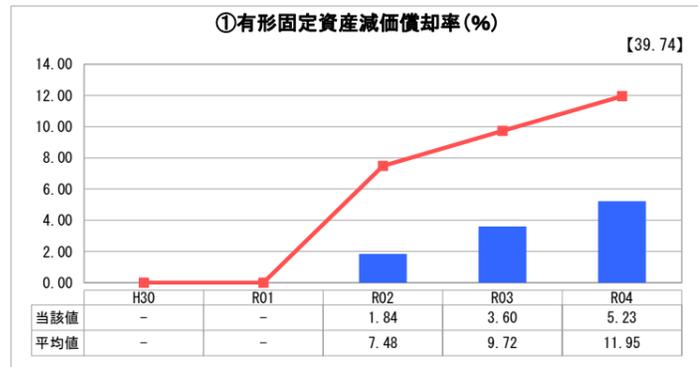
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率について
順調に使用料収入が増加しているため、類似団体平均値とほぼ同等の数値となっている。
- ② 流動比率について
現在下水道事業は整備途中であり、多額の企業債の借入を行っているため、企業債償還金が現金・未収金の残高と比べて非常に高い。そのため、類似団体平均値と比較すると、流動比率の値が低くなっている。
- ⑤ 経費回収率について
経費回収率は100%を下回っているが、使用料収入は順調に増加している。そのため、類似団体平均値と比較すると経費回収率が高くなっていると考えられる。
- ⑥ 汚水処理原価について
類似団体平均値と比較して、汚水処理原価は低い値となっている。それは、有収水量が順調に増加していることや流域下水道に接続していることで汚水処理費が抑えられていることが関連していると考えられる。
- ⑧ 水洗化率について
類似団体平均値と同等の数値となっているが、全国平均に比べて低い値となっている。それは急速な整備の拡大により、処理区域内人口が接続人口と比較し顕著に増加しているためだと考えられる。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却費について
類似団体平均値よりも低い数値となっている。それは現在整備途中であり、供用開始してからの年数も浅いことから、法定耐用年数に近い資産が少ないためだと考えられる。

全体総括

令和2年度より地方公営企業法を一部適用したため、令和元年度以前の数値は計上されていない。令和12年度の整備完了に向けて整備途中であり、今後も多額の事業費が必要になることから、厳しい経営が続く見込みである。
今後も接続率の向上を図りながら、自主財源の確保に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。